

印刷機械運転担当者各位

株式会社 小森コーポレーション  
サービス技術本部

## 年末年始におけるメンテナンスのポイント

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、弊社製印刷機械に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、年末年始の長期機械停止後の印刷機械の取り扱いについてご案内申し上げますので、年始運転開始時のトラブル防止にお役立てください。

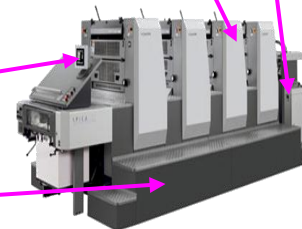
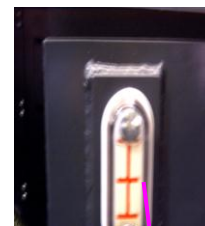
敬具

### ★年末の注意点★

1. 主盤および各配電盤内を掃除する際は、絶対にエアガンを使用しないでください。  
必要があれば、粉塵・パウダー等を掃除機等で慎重に吸い取ってください。
  - ・ スプレー粉が、リレーの接点に付着して思わぬトラブルを引き起こします。
2. 低速運転時における電流計(アンメータ)の電流値を記録しておいてください。
  - ・ 休み明け、運転再開時の参考にします。
3. 印刷機械の主電源を落とした後に、コンプレッサー内と印刷機械内のエアを(できれば、それぞれのドレンコックから)排出してください。

### ★ 年始の注意点 ★

1. 工場内の暖房は、できれば稼働前日から運転開始をしてください。
  - ・ 機械の各部が適温になるには24時間かかるというデータがあります。
2. オイルバスの油量が油面計の上限まであるか確認して、なければ補充をしてください。
3. 印刷機械の主電源を入れて、給油ポンプを10分以上回してください。
  - ・ 潤滑油を循環させ、カバー内の装置各部を潤します。
4. 圧縮空気は、コンプレッサーの圧力が高まったことを確認後、機械に送り込みます。
5. 緩動空転をしばらく(できれば半日程度)行い、各部を充分になじませてください。
  - ・ この時間を利用して印刷機械以外の準備作業を行うと効率的です。
6. 緩動空転のまま、各エアシリンダー等の動作チェックを行ってください。
  - ・ スイッチの入り切りを数回繰り返して、電磁弁の切れ替わる音を確認してください。
    - ① コモリマチック
    - ② インキローラエア着脱
    - ③ 胴入・胴抜
    - ④ その他付帯機器
7. 問題がなければ1時間程度低速空転を行った後、電流計の電流値を確認の上、平常稼働に入ってください。



※ 詳細または不明な点がございましたら、下記まで問い合わせ願います。

株式会社小森コーポレーション

テクノサービスセンター

東京:本社 03-3624-7166  
部品販売 03-3624-7154  
埼玉 048-480-7166  
相模 046-278-2355~8

東日本サービス

北海道 011-641-1505  
東北 022-282-8871  
北陸 076-422-5588  
名古屋 052-363-5011

西日本サービス

大阪 06-6939-0141  
九州 092-433-7615  
中国 082-295-9100  
四国 087-864-3902